

会 告

## 日本-スウェーデン冶金シンポジウム開催のお知らせ

日本-スウェーデン冶金シンポジウムを本会主催で開催することになりました。  
 会員各位にはお誘い合せのうえ、ご来聴下さるようご案内申し上げます。

記

日 時 昭和 46 年 5 月 24 日 (月) 9:00~17:00  
 25 日 (火) 9:00~12:00

会 場 経団連会館 9 階 (千代田区大手町 1-9-4)

プログラム 別掲参照, 全講演英語で行なわれます (テキスト配布) なお, プログラムは今後多少の変更がある  
 予定です。

申 込 別記用紙にて 4 月 30 日 (金) までお申込み下さい。

定 員 150 名 (先着順) 聴 講 料 不要

### 日本-スウェーデン冶金シンポジウム仮プログラム

#### 昭和 46 年 5 月 24 日 午前

- |  |   |
|--|---|
| 1. 物質移動の解析   | 吉沢 昭宣 (東大工学部)   |
| 2. Mass transfer in a turbulent bath   | Sten Linder (Royal Institute of Technology)               |
| 3. 金材研における連続製鋼   | 吉松 史朗 (金属材料研究所)   |
| 4. Model of refining in the Worera continuous steel-making process   | (Thorvald Engh Ass. Prof. Technical University of Norway) |
| 5. ESR法に関する問題  | 成田 貴一 (神戸製鋼)  |
| 6. Temperature distribution and stirring in the ESR process  | Per Olov Mellberg (Royal Institute of Technology)         |
| 7. Determination of SiO <sub>2</sub> -activity in Si-deoxidation in the presence of highly basic slags, CaO-CaF <sub>2</sub> -SiO <sub>2</sub> | Ingmar Isaksson (Royal Institute of Technology)           |
| 8. FeO-MnO-SiO <sub>2</sub> スラグと溶鉄との平衡   | 丸橋 茂昭 (日新製鋼)  |

#### 昭和 46 年 5 月 24 日 午後

- |   |   |
|---|---|
| 9. Summary of Swedish research on deoxidation                                     | Sven Eketorp (Prof. Royal Institute of Technology)              |
| 10. 合金鋼の脱酸  | 郡司 好喜 (金属材料研究所)   |
| 11. Deoxidation of stainless steels   | Lars Ivar Eklund (Royal Institute of Technology)                |
| 12. The behaviour of oxide and sulfide inclusions during deformation of the steel | Sven Eketorp (Royal Institute of Technology)<br>(プログラム次ページにつづく) |

### 日本-スウェーデン冶金シンポジウム聴講申込書

会 員 資 格	賛 助	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名 .....				
勤務先および 職 名 .....				
勤務先所在地 .....				(郵便番号 )
通信先 (勤務 先と違う場合) .....				(郵便番号 )
聴講希望 1. 24・25両日, 2. 24日のみ, 3. 25日のみ				

- |   |   |
|---|---|
| 13. 介在物と被削性の問題  | 荒木 透 (東大工学部)  |
| 14. Modification of casting structures by inoculations  | Hans Sanberg (Research project leader, Poyal Institute of Technology) |
| 15. 凝固の基礎研究   | 高橋 忠義 (北大工学部)   |
| 昭和 46 年 5 月 25 日 午前   |   |
| 16. 鉄鉱石の流動床還元   | 近藤 真一 (新日本製鉄)   |
| 17. Smelting reduction possibilities and problems   | Sven Eketorp (Prof. Royal Institute of Technology)                    |
| 18. 日本における冶金教育  | 増子 昇 (東大工学部)  |
| 19. Metallurgical teaching in Sweden  | Sven Eketorp (Prof. Royal Institute of Technology)                    |
| 20. Research organization and projects at the Division of Terrous Metallurgy, Royal Institute of Technology | Hans Sanberg (Research project leader, Royal Institute of Technology) |

### 特別講演会開催のお知らせ

本会では、ベルギー・ゲント大学の A. DE SY 教授が来日される機会に下記により特別講演会を開催することになりました。多数会員奮つてご来聴下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 46 年 4 月 20 日 (火) 10:00~12:00
2. 会 場 経団連会館 1002 号室 (10階)  
東京都千代田区大手町 1-9-4 (電話 279-1411)
3. 演 題 Optimisation of Composition and Rolling Variables of Tough, Ductile and Readily Weldable Medium Strength (30~42 kg t/mm<sup>2</sup> Y. S.) Low Copper-Niobium Steels.  
ベルギー ゲント大学 Prof. Dr. Albert DE SY

### 第 2 回「鉄鋼の強度と靱性」シンポジウム開催のお知らせ

鉄鋼基礎共同研究会強度と靱性部会 (日本鉄鋼協会, 日本金属学会, 日本学術振興会) 主催で下記により標記シンポジウムを開催いたしますので、奮つてご参加下さるようお知らせいたします。

記

1. 日 時 昭和 46 年 6 月 9 日 (水) 9:30~17:00
  2. 場 所 農協ホール (千代田区大手町 農協ビル内)
  3. 講 演 (1) 鋼の靱性について  
(2) 高強度鋼の熱処理と靱性  
(3) 起細粒化鋼の強度と靱性  
(4) 構造用鋼材の延性
- |     |    |     |
|-----|----|-----|
| 早大  | 幸田 | 成康君 |
| 東北大 | 須藤 | 一君  |
| 新日鉄 | 鈴木 | 信一君 |
|     | 金沢 | 正午君 |
| 鋼管  | 小指 | 軍夫君 |
4. 参加費無料 事前の申込は不要です。
  5. テキスト 5月に発売予定 (定価未定)
  6. 連絡先 日本鉄鋼協会 技術部  
〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階 Tel. 03-279-6021

### 『鉄と鋼』特集号のお知らせ

#### テーマ「高炉の複合送風」

本会編集委員会では、会員各位に本誌をよりよくご利用いただけるよう本年より年 2 回程度の特集号の発行を企画し、編集をいたしております。

今回は羽口以外の箇所からの還元ガス吹込みをも含め標記「高炉の複合送風」をテーマに下記により編集いたしますことになりましたので、関連した論文あるいは技術報告をふるつてご投稿下さるようご案内いたします。

記

1. テー マ 「高炉の複合送風」
2. 論文締切日 昭和 46 年 8 月 14 日 (土)
3. 発行予定 「鉄と鋼」第 58 年第 5 号 (昭和 47 年 4 月号)
4. 原稿送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階  
日本鉄鋼協会 編集課

# 第 82 回講演大会講演募集

— 申込(原稿同時提出)締切り 昭和46年 7月31日(土) —

本会は第 82 回講演大会を昭和 46 年 10 月 12 日(火), 13 日(水), 14 日(木)の 3 日間金沢大学(金沢市丸の内 1-1)において開催することになりました。下記要領により講演募集をいたしますので、奮つてご応募下さるようご案内いたします。

講演希望者は昭和 46 年 7 月 31 日(土)までに申込用紙と講演概要原稿を提出して下さい。

## 講演要領

1. 講演内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表  
(設備技術, I E などに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演時間 1 講演につき講演 15 分, 討論 5 分の予定
3. 講演前刷原稿 講演前刷原稿はオフセット印刷いたしますので別添「講演概要原稿の書き方」をご覧のうえ申込時にご提出下さい。  
 1) 原稿は読者に研究目的, 方法, 成果などが理解しやすいようにお書き下さい。謝辞は省略して下さい。  
 2) 原稿は所定の「オフセット用原稿用紙」1 枚(表, 図, 写真を含め 1600 字)にタイプ印書あるいは黒インクまたは墨を用い手書きとして下さい。  
 なお, オフセット用原稿用紙は別記(N54 ページ参照)のごとく有償頒布いたしますのでお申し込み下さい。
4. 講演概要集 「鉄と鋼」第 11 号(臨時増刊号)として発行いたします。

## 申込要領

1. 講演申込資格 講演者は本会会員に限りません。非会員の方で講演を希望される方は, 所定の入会手続きを済ませたうえ, 講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。
2. 講演申込制限 講演申込みは 1 人 3 件以内といたします。
3. 申込方法 本誌添付の講演申込用紙に必要事項を記入の上, 講演前刷原稿とともにお申し込み下さい。
4. 申込用紙の記載について  
 1) 申込用紙は(A), (B)とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。  
 2) プログラム編成上の参考といたしますので, 「講演分類欄」に講演内容が, 前記のいずれに該当するか, 番号でご記入下さい。  
 3) スライドの要否は該当するものに○印をつけて下さい。

製 鉄			製 鋼				加 工					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
製鉄基礎	原料・燃料	高炉製鉄	特殊製鉄	フェロアロイ	製鉄耐火物	製鋼基礎	溶解・精錬	造塊	製鋼耐火物	塑性加工	熱処理	表面処理・防食
加 工			性 質									
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
鑄造	粉末冶金	溶接	金属物理	金属組織	鋼の性質	鉄鋼材料	鑄鉄・鑄鋼	分析	試験・検査技術	計自動制御	I E 一般技術	その他

- 4) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名にはローマ字読みを付して下さい。  
 5) 講演要旨は、情報管理のための文献検索カードに利用いたしますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。
5. 申込みの受理  
 下記の申し込みは理由のいかんにかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意ください。  
 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込  
 2) 必要事項が記入されていない申込  
 3) 講演内容が鉄鋼の学術、技術に直接関連がないと認められる場合  
 4) 単なる書簡または葉書による申込ならびに電報、電話による申込  
 5) 文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当なものと認められるもの
6. 申込締切日 昭和46年7月31日(木)17時着信まで  
 申込用紙、講演前刷原稿を同時提出のこと。
7. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階  
 (社) 日本鉄鋼協会 編集課

## 第82回講演大会討論講演募集

—— 締切日(原稿ともに)昭和46年7月24日 ——

第82回講演大会の際に行なう討論会の討論講演を募集いたしますので、上記ご覧のうえ奮つてご応募下さい。

1. 討論会テーマ
- |   |              |
|---|--------------|
| 1. 高炉内における還元過程  | 座長 館 充君      |
| 2. 連続鑄造(鑄造要因と材質の関係)                                   | 座長 太宰 三郎君    |
| 3. 鉄鋼の強化組織と靱性<br>(当討論会は金属学会と共催になる予定で、くわしくは追つて会告いたします) | 座長 荒木 透君(予定) |
| 4. オーステナイトステンレス鋼の高温強度と微細組織                            | 座長 田中 良平君    |
| 5. 鉄鋼の格子欠陥  | 座長 橋口 隆吉君    |
2. 講演時間 1講演20分とします。
3. 討論講演の採否 討論講演としての採否は討論会座長にご一任下さい。不採用となりました場合一般講演としてプログラムに編入いたしますので、あらかじめお含みおき下さい。
4. 講演前刷原稿 講演原稿はオフセット印刷いたしますので、別添「講演概要原稿の書き方」ご覧のうえ原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6700字)に黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書き下さい。  
 なお、オフセット原稿用紙は下記のごとく有償頒布いたしますのでお申込み下さい。
5. 申込方法 綴込講演申込書に必要事項ご記入のうえ申込書右肩に「討論会名」を朱書し、原稿同封のうえ申込み下さい。
6. 申込締切日 昭和46年7月24日(土)

## オフセット用原稿用紙有償頒布について

講演大会における講演前刷原稿は、所定のオフセット用原稿用紙を用いお書きいただいておりますが、下記により有償頒布いたしますのでお知らせいたします。

講演申し込みは別掲のごとく前刷原稿を同時に提出することになっておりますので、講演発表ご希望の方は締切日より20日以上余裕をもつて購入手続をとられるようお願いいたします。

記

1. 頒布料金1枚5円  
 (頒布の枚数は下記のとおり限定いたします。なお料金は送料込)  
 5枚 60円, 20枚 165円, 40枚 400円  
 10枚 95円, 25枚 210円, 50枚 450円  
 15枚 130円, 30枚 245円  
 100枚以上は小包となりますので係までお問い合わせ下さい。
2. 申込方法 ①オフセット用原稿用紙, ②枚数, ③送付先明記のうえ, ④料金(切手でも可)を添えお申し込み下さい。
3. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課